

2018年3月18日

平成 29 年度 産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会 御中

(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング  
村山哲二

シーズン開幕準備に追われており、大変恐縮ではございますが、今回、欠席させて頂く事を深くお詫び致します。とりまとめ案を拝見致しました。事業の持続的発展に向けた課題と解決策につきまして、大変僭越ではございますが下記にて意見を述べさせていただきます。

① J K A の組織・働き方改革及び人材の能力開発について

改革を実行する機関が、明確な権限と責任を持てるかがポイントと考えます。経営戦略・業務評価部の専任役員が改革機関の責任者となりますが、その責任者をトップとして速やかに改革の組織を構成すべきです。

② 施行者間調整ルールとインセンティブの仕組み構築について

この取り組みはかつてないほど大きなリスクを伴います。先導的施行者にインセンティブを与える一方、不幸にも基準に満たない一般施行者が出た場合、本改革の責任者は“退場”を命じる事が出来るでしょうか。また、最高会議は本改革の責任者に退場を命じる権限を与えるほどの覚悟を持って改革を進める事ができるかが、成否の肝となると感じています。

変化を恐れずに改革にまい進される事を期待しております。以上です。